



2025年3月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年5月8日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社
コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 大橋 智成
(氏名) 海老沼 博行
TEL 044-813-8026
配当支払開始予定日 2025年6月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	7,564	△19.9	△452	—	△394	—	△404	—
2024年3月期	9,441	△8.6	369	△58.4	459	△56.0	389	△52.9

(注) 包括利益 2025年3月期 △487百万円 (—%) 2024年3月期 1,052百万円 (△14.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△491.14	—	△3.1	△2.6	△6.0
2024年3月期	473.07	—	3.0	3.0	3.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 2百万円 2024年3月期 14百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	14,974	12,702	84.8	15,437.03
2024年3月期	15,535	13,272	85.4	16,128.57

(参考) 自己資本 2025年3月期 12,700百万円 2024年3月期 13,270百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	651	△642	△145	4,688
2024年3月期	425	△1,057	△143	4,840

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00	98	25.4	0.8
2025年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00	57	△14.3	0.4
2026年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		—	

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	9.7	0	—	50	—	0	—	0.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	842,520 株	2024年3月期	842,520 株
② 期末自己株式数	2025年3月期	19,769 株	2024年3月期	19,749 株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	822,762 株	2024年3月期	822,848 株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,979	△21.3	△730	—	△521	—	△493	—
2024年3月期	7,597	△13.6	△72	△186.2	342	△18.3	409	1.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△599.40	—
2024年3月期	498.08	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	12,105	8,951	74.0	10,880.53
2024年3月期	12,622	9,549	75.7	11,606.49

(参考) 自己資本 2025年3月期 8,951百万円 2024年3月期 9,549百万円

<個別業績の前期実績との差異理由>

当事業年度における経済環境は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、当社を含めた電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により市場在庫が積み、その在庫調整局面が想定以上に長期化していることが業界全体の低迷につながり、当社の売上高は前事業年度を下回りました。利益面につきましては、原材料・エネルギー価格、人件費や輸送費等の高騰や物価上昇の影響に加え、持続的な成長に向けて積極的な投資を行っていることで、売上原価や販売費及び一般管理費が増加したことなどから、営業利益、経常利益、当期純利益が前事業年度を下回りました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15
(1) 役員の移動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループを取り巻く世界の経済環境は、インフレ抑制を目的とした金融引き締め政策の継続により、米国では個人消費が底堅く推移したものの、中国や欧州の景気低迷の長期化、地政学リスクの高まり、為替相場の急激な変動に加え、米国による保護主義的な通商政策等により景気減速懸念が拡大し、先行き不透明な状況が続いております。日本経済におきましては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等はあるものの、不安定な国際情勢に加え、原材料・エネルギー価格、人件費や輸送費等の高騰や物価上昇の影響継続など、先行きに対する不透明感が更に強まっております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により、市場在庫が積み残されている状況にあり、在庫調整局面が依然として続いております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2022年度から3ヵ年の中期経営計画に取り組んでおり、持続的な成長に向けて積極的な投資を行ってまいりました。また、中期経営計画では、行動理念として制定した「信頼し、信頼される良い会社」を目指す中で、「信頼」と「納期」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開してまいりましたが、在庫調整局面が継続している影響等により厳しい状況で推移いたしました。

以上のことから、当連結会計年度の売上高は7,564百万円（前年同期比19.9%減）、営業損失は452百万円（前年同期は369百万円の営業利益）、経常損失は394百万円（前年同期は459百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は404百万円（前年同期は389百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは、1米ドル152.45円（前年同期比5.5%の円安）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① 日本

日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、不安定な国際情勢、中国の景気低迷の長期化、原材料・エネルギー価格、人件費や輸送費等の高騰や物価上昇の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により、市場在庫が積み残されている状況にあり、在庫調整局面が依然として続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当連結会計年度の外部顧客向売上高は前年同期比20.5%減、グループ間の取引を含んだ売上高は5,980百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

② 欧米

インフレ抑制を目的とした金融引き締め政策の継続により、米国では個人消費が底堅く推移したものの、ドイツの景気低迷の長期化や、米国新政権が打ち出した大規模な関税政策の影響など、先行き不透明な状況となっております。また、欧米市場につきましても電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる市場在庫が積み残されたことによる在庫調整に加え、根強い物価高や高金利の維持による財務リスク回避のため在庫調整局面にあります。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」や「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当連結会計年度の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比26.2%減、為替の影響も含め3,690百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

③ アジア

中国では、長引く不動産市場の停滞に加え国内需要が低迷しており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、アジア市場につきましても電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる市場在庫が積み残されたことによる在庫調整局面であることに加え、主力である韓国における輸出産業の鈍化が重しとなるなど、伸び悩んでいる状況にあります。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当連結会計年度の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比12.0%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め4,049百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当連結会計年度末における資産合計は14,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ560百万円減少いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が257百万円増加した一方、商品及び製品が224百万円、現金及び預金が151百万円、売掛金が149百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当連結会計年度末における負債合計は2,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に買掛金が185百万円増加した一方、未払金が89百万円、未払費用が62百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は12,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ569百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が486百万円、為替換算調整勘定が60百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ151百万円減少し、4,688百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は651百万円（前年同期比53.2%増）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純損失304百万円があったものの、減価償却費532百万円、棚卸資産の減少257百万円、仕入債務の増加196百万円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は642百万円（前年同期比39.2%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出432百万円、無形固定資産の取得による支出277百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は145百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

これは主に、配当金の支払額82百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、各国での物価上昇の継続に加え、米国における関税をはじめとする通商政策が世界経済に与える影響、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化等の地政学リスク、中国の景気低迷の長期化懸念など、世界経済の不確実性が高まると見込んでおります。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、行動理念「信頼し、信頼される良い会社」を目指す中、2024年度までの3ヵ年の中期経営計画Ⅰでは「信頼」と「納期」を重点テーマとして土台構築を行ってまいりました。2025年度から始まる3ヵ年の中期経営計画Ⅱでは、信頼と納期に対する取り組みを継続しつつ、次のステップとして「顧客価値の向上」を目指し、「特定市場の深耕」と「生販一体の供給基盤構築」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を重点的に実行してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、以下のとおりです。なお、連結業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル140円としております。

	2025年3月期実績 (百万円)	2026年3月期予想 (百万円)	前期比増減額 (百万円)	前期比増減率 (%)
売上高	7,564	8,300	735	9.72
営業利益	△452	0	452	—
経常利益	△394	50	444	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△404	0	404	—

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,840,626	4,688,875
受取手形	392,207	382,039
売掛金	1,038,674	889,399
商品及び製品	1,366,268	1,141,603
仕掛品	72,332	45,889
原材料及び貯蔵品	1,846,903	1,813,571
前払費用	65,315	54,692
その他	415,442	403,155
貸倒引当金	△5,426	△5,364
流動資産合計	10,032,344	9,413,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,956,069	3,967,907
減価償却累計額	△2,727,923	△2,794,343
建物及び構築物（純額）	1,228,146	1,173,564
機械装置及び運搬具	676,842	719,225
減価償却累計額	△399,867	△463,703
機械装置及び運搬具（純額）	276,974	255,521
工具、器具及び備品	4,492,007	4,464,158
減価償却累計額	△4,024,023	△4,103,099
工具、器具及び備品（純額）	467,984	361,058
土地	1,039,125	1,038,515
リース資産	357,877	351,588
減価償却累計額	△70,452	△115,180
リース資産（純額）	287,425	236,407
建設仮勘定	60,339	104,966
有形固定資産合計	3,359,995	3,170,034
無形固定資産		
ソフトウェア	51,519	49,368
ソフトウェア仮勘定	195,005	452,776
その他	7,187	7,187
無形固定資産合計	253,712	509,332
投資その他の資産		
投資有価証券	1,260,390	1,175,166
長期貸付金	187,091	258,941
繰延税金資産	81,661	76,178
長期預金	200,000	200,000
その他	160,263	171,118
投資その他の資産合計	1,889,406	1,881,405
固定資産合計	5,503,115	5,560,772
資産合計	15,535,459	14,974,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	563,888	749,141
未払法人税等	27,777	10,899
賞与引当金	103,819	87,302
役員賞与引当金	25,000	26,400
未払金	351,092	261,530
未払消費税等	13,969	6,348
未払費用	250,647	188,569
リース債務	61,811	61,854
その他	118,166	122,560
流動負債合計	1,516,174	1,514,606
固定負債		
繰延税金負債	227,710	270,338
退職給付に係る負債	65,566	66,722
役員退職慰労引当金	209,800	227,500
リース債務	243,674	192,493
その他	505	532
固定負債合計	747,256	757,586
負債合計	2,263,430	2,272,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,787,867	9,301,498
自己株式	△162,818	△162,912
株主資本合計	11,410,152	10,923,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611,373	589,389
為替換算調整勘定	1,248,596	1,187,748
その他の包括利益累計額合計	1,859,970	1,777,138
非支配株主持分	1,906	1,613
純資産合計	13,272,029	12,702,443
負債純資産合計	15,535,459	14,974,635

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	9,441,407	7,564,435
売上原価	5,612,388	4,562,209
売上総利益	3,829,019	3,002,226
販売費及び一般管理費	3,459,102	3,454,703
営業利益又は営業損失(△)	369,916	△452,477
営業外収益		
受取利息	7,623	7,639
受取配当金	33,803	29,502
受取賃貸料	31,830	32,297
スクラップ売却益	1,059	4,394
為替差益	7,077	—
持分法による投資利益	14,314	2,429
その他	14,070	15,700
営業外収益合計	109,779	91,963
営業外費用		
支払利息	6,674	6,823
賃貸収入原価	13,350	13,552
為替差損	—	14,042
その他	524	—
営業外費用合計	20,549	34,418
経常利益又は経常損失(△)	459,146	△394,932
特別利益		
固定資産売却益	485	259
投資有価証券売却益	202,410	90,513
特別利益合計	202,895	90,773
特別損失		
固定資産除売却損	2,045	118
棚卸資産評価損	93,662	—
特別損失合計	95,708	118
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	566,334	△304,277
法人税、住民税及び事業税	153,741	43,321
法人税等調整額	23,166	56,784
法人税等合計	176,908	100,106
当期純利益又は当期純損失(△)	389,426	△404,384
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	162	△293
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	389,264	△404,091

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	389,426	△404,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,812	△21,983
為替換算調整勘定	581,980	△60,847
その他の包括利益合計	662,793	△82,831
包括利益	1,052,219	△487,215
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,052,057	△486,922
非支配株主に係る包括利益	162	△293

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	951,799	833,305	9,501,461	△162,116	11,124,449
当期変動額					
剰余金の配当			△102,859		△102,859
親会社株主に帰属する当期純利益			389,264		389,264
自己株式の取得				△702	△702
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	286,405	△702	285,702
当期末残高	951,799	833,305	9,787,867	△162,818	11,410,152

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	530,561	666,615	1,197,177	1,744	12,323,371
当期変動額					
剰余金の配当					△102,859
親会社株主に帰属する当期純利益					389,264
自己株式の取得					△702
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	80,812	581,980	662,793	162	662,955
当期変動額合計	80,812	581,980	662,793	162	948,658
当期末残高	611,373	1,248,596	1,859,970	1,906	13,272,029

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	951,799	833,305	9,787,867	△162,818	11,410,152
当期変動額					
剰余金の配当			△82,277		△82,277
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△404,091		△404,091
自己株式の取得				△93	△93
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計			△486,368	△93	△486,461
当期末残高	951,799	833,305	9,301,498	△162,912	10,923,691

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	611,373	1,248,596	1,859,970	1,906	13,272,029
当期変動額					
剰余金の配当					△82,277
親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△404,091
自己株式の取得					△93
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△21,983	△60,847	△82,831	△293	△83,124
当期変動額合計	△21,983	△60,847	△82,831	△293	△569,586
当期末残高	589,389	1,187,748	1,777,138	1,613	12,702,443

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	566,334	△304,277
減価償却費	416,049	532,416
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,000	17,700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,606	△16,479
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000	1,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△263	50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16,116	1,235
固定資産除売却損益(△は益)	1,560	△103
投資有価証券売却損益(△は益)	△202,410	△90,513
受取利息及び受取配当金	△41,427	△37,141
支払利息	6,674	6,823
持分法による投資損益(△は益)	△14,314	△2,429
為替差損益(△は益)	43,386	△4,022
棚卸資産の増減額(△は増加)	550,350	257,517
売上債権の増減額(△は増加)	315,354	149,743
未収入金の増減額(△は増加)	4,614	△18,916
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,015,461	196,553
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,891	△7,597
その他の資産の増減額(△は増加)	166,456	3,215
その他の負債の増減額(△は減少)	△91,914	△52,690
小計	696,157	632,483
利息及び配当金の受取額	41,426	37,141
利息の支払額	△6,674	△6,823
法人税等の還付額	—	34,630
法人税等の支払額	△305,631	△45,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	425,279	651,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,125,552	△432,520
無形固定資産の取得による支出	△235,229	△277,856
有形固定資産の売却による収入	485	725
投資有価証券の売却による収入	280,640	144,070
貸付けによる支出	—	△100,000
貸付金の回収による収入	17,742	18,010
その他	4,770	5,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,057,143	△642,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△702	△93
リース債務の返済による支出	△39,809	△63,492
配当金の支払額	△103,317	△82,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,828	△145,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	227,822	△15,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△547,871	△151,750
現金及び現金同等物の期首残高	5,388,497	4,840,626
現金及び現金同等物の期末残高	4,840,626	4,688,875

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、産業用スイッチ(操作用スイッチ)を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、ドイツ、中国の現地法人が中心となって、各地域を担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「欧米」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。また、セグメント間の売上高は、市場価格等を勘案して決定しております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,722,742	4,737,517	981,147	9,441,407
外部顧客への売上高	3,722,742	4,737,517	981,147	9,441,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,878,725	256	4,063,584	7,942,566
計	7,601,467	4,737,773	5,044,732	17,383,974
セグメント利益又は損失(△)	△1,911	254,219	233,700	486,008
セグメント資産	12,636,334	3,605,629	2,996,613	19,238,577
その他の項目				
減価償却費	260,625	21,294	119,977	401,897
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,066,750	26,267	314,429	1,407,447

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	2,959,733	3,690,413	914,288	7,564,435
外部顧客への売上高	2,959,733	3,690,413	914,288	7,564,435
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,020,382	—	3,134,931	6,155,313
計	5,980,116	3,690,413	4,049,220	13,719,749
セグメント利益又は損失(△)	△723,514	△33,976	65,859	△691,632
セグメント資産	12,036,406	3,209,008	2,881,356	18,126,770
その他の項目				
減価償却費	355,766	24,988	135,775	516,530
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	514,484	20,054	89,331	623,869

5. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,383,974	13,719,749
セグメント間取引消去	△7,942,566	△6,155,313
連結財務諸表の売上高	9,441,407	7,564,435

（単位：千円）

利益又は損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	486,008	△691,632
セグメント間取引消去	△116,091	239,154
連結財務諸表の営業利益又は営業損失（△）	369,916	△452,477

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	19,238,577	18,126,770
セグメント間取引消去	△4,011,473	△3,450,592
全社資産（注）	308,355	298,458
連結財務諸表の資産合計	15,535,459	14,974,635

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない賃貸用不動産であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	401,897	516,530	—	—	401,897	516,530
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,407,447	623,869	—	—	1,407,447	623,869

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1 株当たり純資産額	16,128.57円	15,437.03円
1 株当たり当期純利益又は1 株当たり当期純損失 (△)	473.07円	△491.14円

(注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	389,264	△404,091
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	389,264	△404,091
普通株式の期中平均株式数(株)	822,848	822,762

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・新任監査役候補

(非常勤) 監査役 齋藤 亨

(注) 齋藤亨氏は、社外監査役の候補者であります。

・辞任予定監査役

(非常勤) 監査役 京谷 典昭

③ 就任及び退任予定日

2025年6月27日